

2 用紙のセットと排出

用紙について

■推奨する用紙

一般に販売されている用紙にプリントする場合は、規格に合った用紙を使用してください。
また、より鮮明にプリントするために、弊社では次の標準紙を推奨しています。

種類	用紙名	用紙坪量
非コート紙	J紙	82 g/m ²
コート紙	OKトップコート紙+	127 g/m ²

標準紙以外の使用できる用紙については、メディアライブラリーの用紙リストを参照してください。
用紙リストに記載のない用紙を使用する場合は、弊社の営業担当者、またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

補足

- 水、雨、蒸気などの水分が原因で、プリンター内部の結露による画質不良、紙づまり、ステープル不良などが発生することがあります。
- 弊社が推奨している用紙を使用する場合でも、設置環境（温度、湿度など）、データ内容などによっては、最適の画質を得られないことがあります。
- 大量にプリントする場合には、まず、確認プリントで画質を確認したうえで、残りをプリントすることをお勧めします。
- トナーは熱を加えることによって用紙に定着されます。用紙も熱を加えられることで、若干伸び縮みします。
- プリントされた用紙には、ボールペンや水性インキペンで文字が書けないことがあります。
- プリントされた用紙には、テープ、付箋紙、製本用の糊が付きにくいことがあります。
- 用紙バリ（用紙の裁断面に生じる突起）やミシン目のある用紙は、紙づまりが発生しやすくなります。
- 用紙の紙粉、コート材のかけら、その他の異物によって、白点（白抜け）が発生することがあります。
- プレプリント紙の用紙の性質は、用紙によって異なります。プレプリント紙を使用するときは、確認プリントを行い、画質と用紙走行性を確認してください。

■使用できる用紙

メディアライブラリーで用紙情報を設定し、プリントできる用紙は次のとおりです。

補足

用紙トレイに設定されている用紙情報と異なる用紙をセットすると、紙づまりや画質不良の原因となります。正しいサイズ、用紙種類、用紙坪量を選択してください。

用紙サイズ

補足

- 大容量トレイでは、たて：181.9 mm以下の用紙は、はがきセットガイド2を使用してください。
- エアートレイでは、たて：181.9 mm以下の用紙は、エアーサクション給紙トレイ用はがきセットガイドを使用してください。

■ 定形サイズ

サイズ表示 (短辺×長辺)	たて置き	よこ置き	大容量トレイ エアートレイ (1、2、A1/A2-1、 A1/A2-2)	長尺トレイ (A1/A2-1)	手差しトレイ (A1/A2-3)	合紙/表紙トレイ (T1)
SRA3 (320×450 mm)	×	○	○	○	○	○
A3 (297×420 mm)	×	○	○	○	○	○
A4 (210×297 mm)	○	○	○	○	○	○
A5 (148×210 mm)	○	○	大容量トレイ ※ エアートレイ ○ (たて) ※ (よこ)	×	○	※ (たて) × (よこ)
A6 (105×148 mm)	×	○	※	×	○	×
B4 (257×364 mm)	×	○	○	○	○	○
B5 (182×257 mm)	○	○	○	×	○	○
B6 (128×182 mm)	×	○	※	×	○	×
八開 (267×388 mm)	×	○	○	○	○	○
八開 (270×390 mm)	×	○	○	○	○	○
十六開 (194×267 mm)	○	○	○ (たて) ※ (よこ)	×	○	○
十六開 (195×270 mm)	○	○	○ (たて) ※ (よこ)	×	○	○
12×18"	×	○	○	○	○	○
11×17"	×	○	○	○	○	○
8.5×14"	×	○	○	○	○	○
8.5×13"	○	○	※ (たて) ○ (よこ)	※ (たて) ○ (よこ)	○	※ (たて) ○ (よこ)
8.5×11"	○	○	○	○	○	○
8×10"	○	○	○ (たて) ※ (よこ)	×	○	○
7.25×10.5"	○	○	○ (たて) ※ (よこ)	×	○	○
DT特A4 (226×310 mm)	○	○	○	○	○	※
DT特A3 (310×432 mm)	×	○	○	○	○	※
12.6×19.2"	×	○	○	○	○	○
13×18"	×	○	○	○	○	○
13×19"	×	○	○	○	○	○
はがき (100×148 mm)	×	○	○	×	○	×
4×6"	×	○	○	×	○	×
菊4切 (318×469 mm)	×	○	※	※	※	※
菊8切 (234×318 mm)	○	○	○ (たて) ※ (よこ)	○ (たて) ※ (よこ)	※	※
菊16切 (159×234 mm)	○	○	※	×	※	※ (たて) × (よこ)
四六8切 (272×394 mm)	×	○	※	※	※	※
四六16切 (197×272 mm)	○	○	※	×	※	※

○：メディアライブラリーの「サイズ」で選択し、自動用紙検知されます
 ※：用紙をセットしたとき、定形サイズとして自動検知されず、非定形サイズの扱いになります
 ×：用紙向きを選択、またはメディアの割り当てができません

■ 非定形サイズ

非定形サイズ用の紙や長尺用紙を使用する場合は、メディアライブラリーの「サイズ」で「カスタム用紙」を選択し、「長さ」（よこ）と「幅」（たて）のサイズを入力します。

本体大容量トレイ（1、2）	たて：98～330.2 mm よこ：148～488 mm
オプション大容量トレイ/エアートレイ（A1/A2-1、A1/A2-2）	
長尺トレイ（A1/A2-1）	たて：210～330.2 mm よこ：210～1,200 mm
手差しトレイ（A1/A2-3）	たて：98～330.2 mm よこ：148～488 mm（長尺キット装着時：1,200 mm）
合紙/表紙トレイ（T1）	たて：182～330.2 mm よこ：148～488 mm

補足

- ・手差しトレイでは、よこ：146～147.9 mmの用紙を設定できませんが、画質、および用紙走行性を保証していません。
- ・手差しトレイでは、長尺キットが装着されていない場合、長尺用紙は、画質、および用紙走行性を保証していません。

用紙坪量（g/m²）

68 参照

「用紙重量（連量と坪量）の換算表」（P.87）

用紙種類	用紙トレイ	本体大容量トレイ	オプション大容量トレイ	エアートレイ 長尺トレイ	手差しトレイ	合紙/表紙トレイ	長尺用紙
	対応坪量 (g/m ²)	52～400	52～350	52～400	52～300	52～350	—
普通紙		○	○	○	○	○	○
エンボス紙		○	○	○	○	○	○
OHPフィルム		—	—	—	—	—	×
フィルム		○	○	○	○	×	○
メタリック紙		○	○	○	○	×	×
はがき		○	○	○	○	×	×
再生紙		○	○	○	○	○	○
ラベル紙		○	○	○	○	×	×
タック紙		—	—	—	—	×	×
転写紙		○	○	○	○	×	×
インデックス紙（普通紙）		○	○	○	○	○	○
インデックス紙（エンボス紙）		○	○	○	○	○	○
インデックス紙（再生紙）		○	○	○	○	○	○
フルカットタブ（普通紙）		○	○	○	○	○	○
フルカットタブ（エンボス紙）		○	○	○	○	○	○
フルカットタブ（再生紙）		○	○	○	○	○	○
1組の用紙（普通紙）		○	○	○	○	○	○
1組の用紙（エンボス紙）		○	○	○	○	○	○
1組の用紙（再生紙）		○	○	○	○	○	○
○：設定できます —：用紙坪量を入力できません ×：メディアの割り当てができません							

補足

- ・用紙坪量とは、メートル坪量（1m²あたりの坪量）のことです。
- ・用紙トレイ、または用紙種類によっては、対応していないにも関わらず、52～400 g/m²の坪量を設定できますが、画質、および用紙走行性を保証していません。
- ・使用できるOHPフィルムについては、弊社の営業担当者にお問い合わせください。
- ・エッジに白色の帯があるOHPフィルムは使用できません。
- ・両面プリントのとき、おもて面とうら面の像密度が高い場合は、115 g/m²以上の用紙を使用してください。

用紙種類

用紙種類	プレプリント紙（うら面）	コート	1組の枚数
普通紙	○	○	－
エンボス紙	※	－	－
OHPフィルム	－	－	－
フィルム	－	－	－
メタリック紙	－	－	－
はがき	※	○	－
再生紙	○	－	－
ラベル紙	－	－	－
タック紙	－	－	－
転写紙	－	－	－
インデックス紙（普通紙）	○	○	○
インデックス紙（エンボス紙）	※	－	○
インデックス紙（再生紙）	○	－	○
フルカットタブ（普通紙）	○	○	－
フルカットタブ（エンボス紙）	※	－	－
フルカットタブ（再生紙）	○	－	－
1組の用紙（普通紙）	○	○	○
1組の用紙（エンボス紙）	※	－	○
1組の用紙（再生紙）	○	－	○
カスタム用紙	普通紙と同じ		
○：設定できます －：設定できません ※：設定できますが、効果はありません			

補足

- ・[コート] で、[マットコート紙]、または [キャストコート紙] を選択すると、[プレプリント紙] の設定は無効になります。
- ・[1組の用紙] は、インデックス紙と同じように複数枚で1組のセットになっている用紙です。[1組の用紙]、または [インデックス紙] を選択したときは、[1組の枚数] を入力します。
- ・5枚で1組の用紙で「5」を入力すると、3枚目で用紙づまりが発生したときは、4、5、次のセットの1、2枚目はページ（プリントせずに排出）され、次のセットの3枚目がプリントされます。